

はじめに

高校二年生の時でした。化学の勉強をしていて、《元素の周期表》を覚えなければ……、という時に、普通であれば、「スイヘーリーベボクノフネ……」で覚えるところ、河合塾の化学の参考書の中に「アルフス二万尺」の歌で覚えましょう」というのがありました。

スイソにヘリベブ クノフにネオン
ナマグアルシフス クロルにアルゴン
クーカスーカン チーパークロマン
フエーコ ニッケル ドウアーエン
ガーゲアース セーレーン
ブーロームにクリプトン

第4周期の36番まで、実はいまだに歌えてしまいます。頭の中に歌でも浮かんでくると、それに照らして書いていけます。それが、ド忘れした時など、いざとい

う時にとても役に立った記憶があります。

今、古文の授業をしているとき、敬語を覚えたり、助動詞を覚えたり、はたまた、いろんな言葉の識別をしたりしなければいけない……。何の知識がなくても読解できればいいのですが、なかなかそういうわけにはいきません。センター試験でしか古文のいらない理系の人たちにも、どうしても基本の理解は必要なので、しかも、その知識の習得は、基本事項の記憶に頼ることになります。でもそれがなかなか覚えられない、その時に思い浮かんだのが『元素の周期表の歌』でした。「古公文法を覚えるのにも歌は役に立つんじゃないか」。それ以来、いくつかの替え歌ができました。それを「CDにしてほしい」と言ってくれるうれしい声をたくさんもらい、今回の出版につながったわけです。

曲に関しては、少しでも多くの人に口ずさんでもらいたい、という思いから、できるだけ覚えやすい、誰でもどこかで耳にしたことがあるんじゃないかな、というものを選びました。各曲、3回ほど聴いてもらえば、頭に入ると思います。電車の中などで、何度も何度も繰り返し聴いてみてください。きつと役に立つと思います。もちろん、各項、ある程度の説明書きはしておりますので、それを参考にしてください。少しでも、古文を勉強する人たちの役に立てばうれしいです。



歌っておぼえよう
古典文法・
文学史
目次

lecture
5

● 助動詞一覧表	056
助動詞	028

lecture
4

敬語	020
♪ 尊敬語・謙讓語の歌	026

lecture
3 2

形容詞	014
形容動詞	016
● 形容詞・形容動詞活用表	018
♪ 形容詞・形容動詞活用 of 歌	019

lecture
1

はじめに	002
動詞	006
● 動詞活用表	010
♪ 動詞活用 of 種類の歌	012
♪ 動詞活用 of 歌	013



本書の利用法

本とCDの用い方は基本的に自由です。参考にいくつか例を示します。

- まず本を読み、内容を理解する。次に歌詞を見ながらCDを聴いて覚えていく。
- まずCDを繰り返し聴き、歌詞を覚えた上で、本を読み、納得する。
- 本を読みながらCDを聴き、CDを聴きながら本を読む。二つのことをいっしょにしながら、歌詞も内容も理解する。

lecture

8

文学史

♪ 文学史の歌

098

104

♪ 「なむ」の識別の歌

096

♪ 「なり」の識別の歌

093

♪ 「る・れ」の識別の歌

089

♪ 「ぬ・ね」の識別の歌

084

♪ 「に」の識別の歌

081

文法識別

076

lecture

7

lecture

6

助詞

060

♪ 助詞の歌

074

♪ 助動詞接続の歌

059

♪ 助動詞意味の歌

058

各章の歌

① 【識別】の章において用いている□・○は

□——助動詞 ○——助詞 ■——各章の識別対象語
をそれぞれ表しています。

② 本書のCDマーク④の数字は収録されているトラックNo.を示しています。

③ カバーの裏面に本書収録曲の歌詞をまとめてあります。

形容詞

◆ 形容詞とは

形容詞とは、①用言で

②活用して

③言い切りの語尾が「し」

のものを言います。「つらし」とか「うれし」などが形容詞です。もちろん現代語では、「つらい」とか「うれしい」などで言い切りの語尾が「い」のものです。活用の種類はク活用とシク活用の二つがあつて、理解するのは動詞ほど大変ではありません。形容詞には、意味的に重要なものが多いですが、活用もきっちり理解しておくといろんな場面で役に立ちます。

◆ ク活用とシク活用

たとえば、「つらし」は下に動詞「なる」を付けると、「つらくなる」、「うれし」だったら「うれしくなる」となりますね。このように「くくなる」となるものをク活用と言ひ、「しくなる」となるものをシク活用と言うのです。「あさまし」だったら「あさましくなる」でシク活用、「かたし」だったら「かたくなる」でク活用といったふうです。